

# 「兵庫県建設業育成魅力アップ協議会」による 若年者の建設業への入職促進について

兵庫県 県土整備部 県土企画局 総務課 建設業室 建設業班長 ひらおか まさみつ  
平岡 正光

## 1. はじめに

我が国は、高度経済成長期、バブル経済及びその崩壊などを経て成熟の時代を迎えるとともに、少子高齢化の進展により人口減少局面に入っています。元号も平成から令和に変わるなど、時代の転換点を迎えています。

また、様々な業界で人手不足の状況にあり、人手不足倒産も増加傾向です。建設業界においても、高齢化・人手不足が深刻であり、労働力の確保や円滑な技能継承などが課題となっています。

兵庫県では、建設業界で働く人材を確保するために「兵庫県建設業育成魅力アップ協議会」を設置し、建設業のイメージアップや建設業への若年者の入職促進などに取り組んでいます。

本稿では、兵庫県の建設業界及び建設業就業者の状況などに触れつつ、兵庫県建設業育成魅力アップ協議会の取組についてご紹介します。

## 2. 建設業を取り巻く状況等

### (1) 建設投資

全国の建設投資は、平成4年度の84兆円をピークに減少基調となり、平成22年度には平成4年

度の半分程度にまで減少しましたが、東日本大震災からの復興、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等により近年は回復傾向となっています。

兵庫県内の建設投資は、平成7年度の約4.8兆円をピークに減少傾向が続き、平成23年度は平成7年度と比較して27%（1.3兆円）まで減少しました。平成24年度から上昇に転じ増加傾向が続いていますが、国土強靱化のための緊急対策によって更なる増加が予想されます（表-1）。

### (2) 建設業許可業者数

全国の平成31年3月末現在の建設業許可業者数は468,311者で、前年同月比3,422者（+0.7%）の増加となっています。許可業者数が最も多かった平成12年3月末時点（600,980者）と比較すると、▲132,669者（▲22.1%）の減少となっています。

兵庫県の平成31年3月末現在の建設業許可業者数は19,061者で、前年同月比193者（+1.0%）の増加となっており、7年ぶりに19,000者を上回ることとなりました。許可業者数が最も多かった平成12年3月末時点（25,536者）と比較すると、▲6,475者（▲25.4%）の減少となっています（表-2）。

表－1 建設投資の推移（兵庫県）

（出来高ベース、単位：億円）

年度 (平成)	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
公共	11,122	12,965	15,209	13,268	18,320	17,969	17,662	14,157	11,833	13,477	9,985	8,029	7,225	6,609
民間	25,962	24,578	21,264	19,829	29,725	27,809	22,742	16,746	15,346	15,184	13,220	13,083	12,384	13,232
総計	37,084	37,543	36,473	33,097	48,045	45,778	40,404	30,903	27,179	28,661	23,205	21,112	19,609	19,841

年度 (平成)	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
公共	6,145	5,249	4,750	4,703	4,531	4,952	3,829	4,705	6,045	6,439	6,075	6,310	5,593	5,390
民間	13,696	14,452	13,552	15,718	10,239	9,508	9,308	9,815	10,508	10,357	10,275	11,201	11,112	11,299
総計	19,841	19,701	18,302	20,421	14,770	14,460	13,137	14,520	16,553	16,796	16,350	17,511	16,705	16,689

（資料：国土交通省「建設総合統計」）

表－2 許可業者数の推移

（単位：者）

	H5.3.31	H6.3.31	H7.3.31	H8.3.31	H9.3.31	H10.3.31	H11.3.31	H12.3.31	H13.3.31
全国	530,665	543,033	551,661	557,175	564,849	568,548	586,045	600,980	585,959
兵庫県	22,421	22,659	22,963	23,261	23,721	23,925	24,844	25,536	24,750

	H14.3.31	H15.3.31	H16.3.31	H17.3.31	H18.3.31	H19.3.31	H20.3.31	H21.3.31	H22.3.31
全国	571,388	552,210	558,857	562,661	542,264	524,273	507,528	509,174	513,196
兵庫県	24,096	22,775	22,947	23,069	22,097	21,227	20,412	20,491	20,635

	H23.3.31	H24.3.31	H25.3.31	H26.3.31	H27.3.31	H28.3.31	H29.3.31	H30.3.31	H31.3.31
全国	498,806	483,639	469,900	470,639	472,921	467,635	465,454	464,889	468,311
兵庫県	20,000	19,330	18,734	18,718	18,870	18,665	18,733	18,868	19,061

（注） H31.3.31 現在 兵庫県許可業者の内訳：知事許可 18,689 者 大臣許可 372 者  
（資料：国土交通省集計資料）

### 3. 建設業就業者の状況

#### (1) 建設業就業者数及び年齢構成

県内の建設業就業者数は、国勢調査によれば平成7年の258千人をピークに減少し、平成27年では156千人（平成7年比約40%の減）となっ

ています。また、全産業に占める割合も減少しています（表－3）。

年齢構成は、平成29年度就業構造基本調査によれば、労働者に占める55歳以上の割合は約33%、65歳以上の割合は約14%となっています（表－4）。10年後にはその大半が引退し、更なる人手不足に陥ることが予想されます。

表－3 建設業就業者数の推移

（単位：千人）

年度		S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
全国	全産業	58,357	61,682	64,142	62,978	61,506	59,611	58,919
	建設業	5,266	5,842	6,631	6,290	5,392	4,475	4,341
	対全産業	9.0%	9.5%	10.3%	10.0%	8.8%	7.5%	7.4%
兵庫県	全産業	2,401	2,543	2,605	2,599	2,554	2,490	2,444
	建設業	196	220	258	240	203	164	156
	対全産業	8.2%	8.7%	9.9%	9.2%	7.9%	6.6%	6.4%

（資料：総務省「国勢調査」）

表－4 年齢階層別の建設業労働者数（兵庫県）

（単位：人）

	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	合計
労働者数	6,600	16,200	45,400	39,400	30,400	23,300	161,300
構成比	4.1%	10.0%	28.1%	24.4%	18.8%	14.4%	100.0%
	【55歳以上】					33.3%	

（出典：平成29年度就業構造基本調査（総務省））

表-5 建設業における高校新卒者の充足率等の推移

(単位：人、%)

区分		H26.3 卒	H27.3 卒	H28.3 卒	H29.3 卒	H30.3 卒	製造業 H30
全 国	建設業就職者数 (A)	13,878	13,789	13,294	13,323	12,982	74,446
	〳 求人数 (B)	35,085	43,868	48,389	52,739	60,928	133,024
	充足率 (A/B)	39.6	31.4	27.5	25.3	21.3	56.0
	(全業種就職者数 (C))	(162,293)	(169,743)	(171,699)	(172,868)	(170,635)	(同左)
	(全業種に占める割合 (A/C))	(8.6)	(8.1)	(7.7)	(7.7)	(7.6)	(43.6)
兵庫県	建設業就職者数 (a)	397	381	377	429	428	2,957
	〳 求人数 (b)	666	910	1,011	1,320	1,562	5,575
	充足率 (a/b)	59.6	41.9	37.3	32.5	27.4	53.0
	(全業種就職者数 (c))	(5,472)	(5,579)	(5,792)	(5,882)	(5,916)	(同左)
	(全業種に占める割合 (a/c))	(7.3)	(6.8)	(6.5)	(7.3)	(7.2)	(50.0)

(出典：厚生労働省 平成 30 年度「高校・中学新卒者の求人・求職状況」取りまとめ)

(2) 建設業への入職者数 (高校新卒)

高校新卒の建設業への就職者数は、3年前まで400人未満でしたが、平成29年3月卒及び平成30年3月卒では400人を超えており、増加傾向となっています(表-5)。

求人数については、近年、急速に増加(H26.3→H30.3で約2.35倍)し、就職者数を大幅に上回る状況となっており、充足率は低下し続けています。

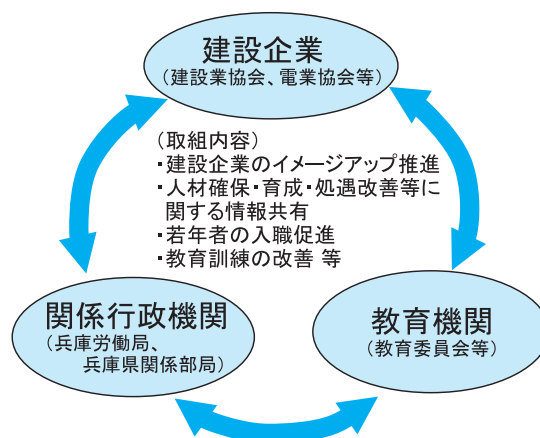


図-1 協議会のイメージ

4. 兵庫県建設業育成魅力アップ協議会

(1) 背景

建設産業は、長く続いた建設投資の減少に伴い受注高が減少し、人員削減が進行するとともに、労働条件・労働環境や職業イメージの悪化、若年入職者の減少、高齢化の進展などの問題が顕著化していました。

兵庫県では、地域づくりの担い手である建設企業が、将来を担う若年入職者を確保し、若い世代に技術を継承して、社会資本の整備・維持管理や災害時の応急対策を実施できるよう、建設人材の確保・育成を支援していく必要があったことから、関係行政機関や建設業者団体等で構成する協議会を設置し、建設産業の持続的な発展を図るための取組を進めることとなりました。

(2) 協議会概要 (図-1)

① 名称

兵庫県建設業育成魅力アップ協議会

② 目的

建設業に対する県民の正しい理解とイメージアップ、若年入職者の確保等を図り、建設業が担う社会基盤の整備の円滑な推進を図る。

③ 所掌事務

- 1) 建設業のイメージアップの推進に関すること
- 2) 建設業への若年者の入職促進に関すること
- 3) 建設業の就業環境の改善の推進に関すること
- 4) その他目的を達成するために必要な事項に関すること

④ 構成メンバー

表-6 参照。

⑤ 設置時期

平成 26 年 4 月

表-6 構成メンバー

	所属機関(団体)名	役職
行政関係	兵庫労働局職業安定部	職業安定課長
	兵庫県産業労働部政策労働局	労政福祉課長
	〃	能力開発課長
	兵庫県県土整備部県土企画局	局長
	〃	総務課長
	〃	技術企画課長
教育関係	兵庫県教育委員会	高校教育課長
	兵庫県工業高等学校長会	会長
業界関係	一般財団法人建設業振興基金	経営基盤整備支援センター部長
	一般社団法人兵庫県建設業協会	会長
	一般社団法人兵庫県電業協会	会長
	一般社団法人兵庫県空調衛生工業協会	会長
	一般社団法人職業訓練法人近畿建設技能研修協会	三田建設技能研修センター所長

※上記のほか、兵庫県進路指導研究会定通部会（県内の定時制通信制高校の進路指導研究等を行う機関）会長がオブザーバーとして参加。

## 5. 協議会の主な取組

### (1) 令和元年度事業計画

兵庫県建設業育成魅力アップ協議会では、官民一体となって建設業への若年者の入職を促進していくため、以下の基本方針で事業を進めています(表-7)。

#### ① 建設業の魅力発信の拡充・強化

新聞紙面でのPRをはじめとする建設業の魅力発信に取り組むとともに、小中学生向け建設業体験イベントへの参加団体を広く呼びかけるなど、魅力発信の拡充・強化を図ります。また、女性の建設業への入職促進のため、新たに女子高校生と女性技術者との意見交換会を行い、女性に対する建設業の魅力発信に取り組めます。

#### ② 工業高校生等に重点をおいた高校新卒者の入職促進

工業高校からのインターンシップ等を受け入れるとともに、資格取得支援講習会や出前説明会等の開催、工業高校生保護者を対象とした現場見学会など工業高校等との連携を強化し、事業を推進します。また、定時制高校や普通科高校、農業土木科高校への出前説明会も引き続き実施するなど、各高校等との連携強化に努めます。

#### ③ 建設技能者の確保・育成

建設業界が設置した建設産業団体連合会とも連

携しつつ、三田建設技能研修センター等を活用した訓練事業による人材確保・育成のほか、就職内定者や社員等を対象とした研修会等により若年者の定着促進に取り組みます。

### (2) 事業紹介

#### ① 新聞紙面による情報発信

建設業に携わる「人」、特に「若手、女性、技能者」に着目し、社会基盤整備と建設業の魅力を発信し、情報発信には県民への訴求力の高い新聞紙面を活用し、特集記事を掲載しています。当該事業は、掲載新聞社の広告賞を毎年受賞するなど高い評価を得ています。

読者アンケートでも、「新しい技術も取り入れながら官民一体となって取り組み、市民の生命財産を守ろうとする意気込みが感じられた」、「担当者の真摯な態度がとても頼もしく、現場のやりがいや伝わり、若い人がやってみたい、参加してみたいと思ったのではないかな」などの声が寄せられ、建設業のイメージアップに大きな成果をあげています。

#### ② 現役の技術者等が建設業の魅力を伝える魅力説明会

現役の技術者・技能者が、工業高校、定時制高校、普通科高校、農業土木科高校に出向いて、建設業の魅力を伝える説明会を平成27年度から開催しており、平成30年度は延べ12校591人が参加しました(写真-1)。



表-7 令和元年度事業メニュー

事業名	内 容	事業メニュー
建設業の魅力発信の拡充・強化	将来の担い手である小中学生を対象とした建設業やものづくり体験の魅力の積極的な伝承	土木事務所による出前講座、現場見学会の拡充
		ものづくり体験館における、ものづくり体験学習・体験講座の実施
		小型建設機械などを使用した体験イベントの開催
	建設業イメージアップのための情報発信の拡充	新聞紙面による情報発信 ・「若手、女性、技能者」に着目し、社会基盤整備と建設業の魅力を発信  各地のイベントにおける情報発信 ・ふれあいの祭典等において建設業者団体による建設業の魅力を発信する展示ブースの設置  女性に対する情報発信【新規】 ・女子高校生と女性技術者との意見交換会を実施し、建設業の魅力を発信
若者を引きつける魅力ある職場づくりの推進	若手技術者顕彰制度による積極的な公表	
工業高校生等に重点をおいた高校新卒者の入職促進	建設業に対する興味を深める実習体験やインターンシップ等の拡充	工業高校の生徒を対象に、三田建設技能研修センターにおいて一日体験セミナーを実施
		建設業者団体によるインターンシップ受け入れや現場見学会等の拡充
		現役の技術者や技能者が建設業の魅力を伝える出前説明会の開催
	建設業への就職につながる資格取得等専門性向上へ向けた支援の実施	三田建設技能研修センター、建設業者団体から実技講習授業へ講師を派遣 県内工業高校生を対象にした資格取得支援講習会の開催
定時制・通信制高校との連携の推進	定時制高校生等を昼間アルバイトとして期間雇用し、働きながら技能を習得するための訓練を実施  定時制高校等と建設業界との意見交換会や現場見学会の実施	
建設技能者の確保・育成	若年未就業者等への技能講習や資格取得等の支援	若年未就業者を期間雇用し、働きながら技能を習得するための訓練を実施【再掲】
		建設労働者緊急育成支援事業を活用した三田建設技能研修センター等における人材育成と入職促進
		離職者等再就職訓練事業を活用した但馬技術高等学校等における建設人材の育成
	合同研修による社会人としての基本スキル習得や業界内での仲間意識醸成	三田建設技能研修センターにおける就職内定者等を対象とした建設業者団体による横断的研修の実施  三田建設技能研修センターにおける3～5年目の社員を対象としたリカレント(学び直し)講習の実施【新規】  三田建設技能研修センターにおける普通科高校等を修了した新入社員を対象とした週1回(年間30～40回)の講習を実施【新規】

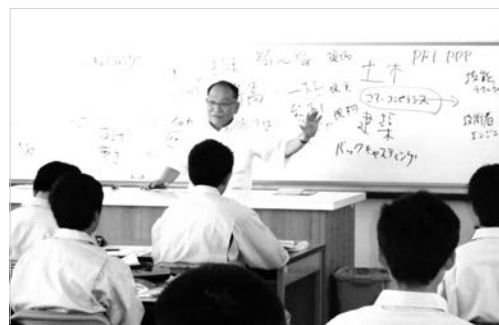


写真-1 説明会の風景

参加者アンケートによると「建設業のイメージが良い」と回答した参加者の割合が、説明会前後で35%から2倍超の74%になるなど、建設業のイメージアップに大きな成果をあげています。参加した生徒からは、「建設業界に興味がなかったけど、説明会を通して働きたいと思った」、「実際

に現場で働いている人の話が聞けて、とてもいい機会になった」など多くの好意的な感想が寄せられています(表-8)。

③ 女子高校生と女性技術者との交流セミナー  
今年度の新規事業として、女性の建設業への入職を促進するため、県内工業高校の女子高校生

表-8 建設業のイメージ (平成30年度:参加者アンケート集計結果より)

	(説明会前)	(説明会後)	
良い	202人 (35%)	→ 427人 (74%)	+39ポイント
どちらでもない	225人 (39%)	→ 108人 (19%)	▲20ポイント
悪い	18人 (3%)	→ 0人 (0%)	▲3ポイント
わからない他	130人 (23%)	→ 40人 (7%)	▲16ポイント



図-2 交流セミナーのチラシ

と、(一社)土木技術者女性の会及び兵庫県建設業協会会員企業の女性技術者との交流セミナーを開催しました(図-2)。

この交流セミナーでは、女性技術者による建設業で働く女性特有の工夫や働きがいをテーマとした基調講演、パネルディスカッション、意見交換会を行いました。

意見交換会は、女子高校生と女性技術者がグループに分かれて、話しやすい雰囲気では建設業の現状や働きがいなどについて話し合ったほか、女子高校生から資格取得、職場環境、卒業後の進路について熱心な質問が続き、大変有意義なものとなりました。

【開催概要】

- ・日時 令和元年8月2日(金)(神戸市内)
- ・参加者 女子高校生24名, 女性技術者6名
- ④ 工業高校生保護者を対象とした現場見学会

保護者は高校生の進路決定に大きな影響力を持っていることから、保護者に建設業の現場を見ていただき、建設業の現状や働きがいを知っていただくために、工業高校生の保護者を対象とした現場見学会を開催しました(写真-2)。



写真-2 保護者現場見学会の様子

見学会では、現場の企業担当者からの説明・案内や、若手社員の体験談などを通じて建設業界の現状を知っていただく良い機会となりました。

【開催概要】

- ・日時 令和元年11月30日(土)(伊丹市内)
- ・参加者 工業高校生保護者など16名

6. おわりに

近年、平成30年の西日本豪雨や昨年の台風19号をはじめとする自然災害が多発し、深刻な被害をもたらしています。また、将来起こることが想定される南海トラフ地震へ備えることも必要です。加えて、交通インフラをはじめとする社会基盤の計画的・効率的な整備や老朽化対策も求められています。

建設業は、災害からの復旧・復興、社会基盤の整備を推進するために必要不可欠な産業として、今後、その重要性は一層高まることでしょう。

地域の守り手であり、地域経済の担い手である建設業が維持・発展していくために、兵庫県建設業育成魅力アップ協議会という枠組みで関係機関が手を携え、建設業のイメージアップや建設業への若年者の入職促進などに取り組んでまいりたいと考えています。